



令和5年度

和光市立白子小学校

学校経営計画



白子小マスコットキャラクター「しらりん」

令和5年度 和光市立広白子小学校 学校経営計画

歴史を引き継ぎ 未来を拓く

令和5年度はいよいよ「アフターコロナ」が本格的に始まります。本年度は、「本来、学校があるべき姿」を想定し、地域と学校が連携した「新しい学び」を再構築していきたいと思えます。

また令和5年度は白子小学校創立149周年。令和6年度は記念すべき創立150周年となります。記念行事・事業を計画・実施してまいります。これらの取り組みについても「SDGs」的であり、子ども達の学びに還元されるものが相応しいと考えます。そういう観点からも、白子小の歴史と伝統を学ぶこと・地域と連携した学びを推進すること、ICTを活用すること、主体的・対話的な学びを推進すること、21世紀型の学びを推進することらを融合させた「新しい学び」を推進したいと考えます。

これらの概念を「**白子学**」と名付けます。

白子学

- ① 白子小・白子宿の歴史と伝統を学ぶ授業
- ② 外部人材を活用した授業
- ③ ICTを有効に活用した授業
- ④ 主体的・対話的で深い学びを推進する授業
- ⑤ SDGs・プログラミング・経済教育等、21世紀を生きるための授業

もちろん、これらの学びを推進するための土台は、「ほうれんそうのおひたし」です。「報告・連絡・相談」「怒らない・否定しない・助ける・指示する」この精神を、家庭・学校・地域で共有し「白子学」を推進していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

1 学校教育目標

「白子学」の推進、そして「主体的・対話的で深い学び」を推進する思いから、学校教育目標を以下のように変更いたします。

歴史を引き継ぎ 未来を拓く

主体的に学ぶ子

対話的・協働的に学ぶ子

生きる力にあふれる子

主体的に学ぶ子

「興味や関心を高める子」「見通しをもって学べる子」「生活や体験と結びつけて学べる子」「持続的に学び続ける子」「自分を振り返って学べる子」

対話的・協働的に学ぶ子

「友達の考えを理解しようとする子」「自分の考えを表現できる子」「色々な情報を集め、取捨選択できる子」「協働して課題を解決しようとする子」「みんなで新しいものを創造しようとする子」「自制心のある子」「共感できる気持ちのある子」

生きる力にあふれる子

「協調性のある子」「規律ある生活ができる子」「活動的で積極的な子」「好奇心を持ち、問い続ける子」「柔軟に物事に対応できる子」「自己有用感があり自信をもてる子」

2 目指す学校像

目指す学校像は、「学校・地域・保護者連携」「教職員間連携」「児童への指導」の三つの観点から構築しています。

(1) 学校・地域・保護者が子ども達のために「ほうれんそう」の精神で連携する学校

(2) 教職員が「ほうれんそうのおひたし」の精神を持ち、連携して働く学校

(3) 児童が「白子学」を体感できる学校

3 目指す児童像

目指す児童像は、学校教育目標の副題と同じです。

(1) 主体的に学ぶ子

(2) 対話的・協働的に学ぶ子

(3) 生きる力にあふれる子

4 本年度の重点目標

(1) 「ほうれんそうのおひたし」の意識の浸透

保護者・地域連携、教職員間の連携の基礎としての「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」の浸透、そして児童への指導・支援の在り方の基礎としての「おひたし（怒らない・否定しない・助ける・指示する）」の意識をより一層、浸透させていきます。

- **ホウ「報告」**
教職員間・管理職への報告・保護者への報告。→**must** 事項。多くの事件事故が一人で処理することで発生する。保護者・地域の皆様も気になったことは是非、学校にご報告を。特に「いじめ対応」「生徒指導対応」は、些細なことでも「ほうれんそう」で。
- **レン「連絡」**
教職員間の連絡事項の確実な周知徹底・保護者・児童への正確な連絡。→**must** 事項。学年間での共通認識を持つ。・・・だろう。・・・に違いないは×。
- **ソウ「相談」**
一人で抱え込まない。年齢差・経験差・役職の違いを気にしない。学校での児童の様子を保護者と共有し、共に育てる意識。→ 職場の雰囲気も重要。風通しの良い・明るい職場。保護者目線に立ち、「共育」する意識。保護者・地域の皆様も、是非、学校を信頼いただき、何事もお相談ください。
- **お「怒らない」**
アンガーマネジメント。「怒らない」≠「指導しない」。必要なことは確実に「指導」を。ただし、その指導の在り方において「感情的に怒る」ことはしない。「怒る」のなら、効果的な「演技」であるべき。実態に応じた多くの「指導の引き出し」を持つ。ご家庭においても、感情的ではない「諭し方」を。
- **ひ「否定しない」**
児童の持つ「良さ」に着目する。児童が自己肯定感を持つことが成長の鍵。自己否定をもたらす指導は、逆効果であることが多々ある。ありのままの児童を承認し帰属意識を持たせる。家庭においても、お子様の自己有用感を育てられる「褒め方」を。
- **た「助ける」**
児童が何に困っているのか、どこに躓いているのかをよく観察し支援。支援のあり方については、ユニバーサルデザインの視点・個別支援・特別支援の考え方を取り入れる。ご家庭においては「無償の愛情」を。ただし「物」を与えることは愛情の代償にならないケースが多々あります。言葉と行動で愛情を示してあげてください。
- **し「指示する」**
指示は「明確・簡潔」に。指導すべき事はしっかりと。特に児童の安全や生活規律に関することは、「凡事徹底」し、学校・家庭・地域で繰り返し、指導する必要があります。

(2) 「白子学」の推進

① 白子小・白子宿の歴史と伝統を学ぶ授業の推進

- ※ 清水かつら・大石まこと展示室の設置
- ※ 白子宿の歴史を学ぶ授業の推進
- ※ 開校記念日に白子小の歴史を学ぶ授業を実施。
- ※ 白子囃子・ささら獅子舞・和光太鼓についての学習を実施。
- ※ 白子近辺の自然に触れ合う学習を実施。(湧き水・白子川・植物等)

② 外部人材を活用した授業の推進

- ※ 和光ブランド授業(キャリア教育) 3年生
- ※ 池田屋さん鯉節授業(食育) 5年生
- ※ トウモロコシ・枝豆皮むき体験(食育) 1・3年生
- ※ 和光市危機管理室とのリモート学習(防災) 4年生
- ※ 150周年に向けた体育着デザイン体験(キャリア教育) 5年生
- ※ 学校環境支援員と連携した学校ファーム・学年園を活用した授業(環境) 全学年
- ※ スーパーマーケット・消防署見学(キャリア・防災) 3年
- ※ 昔遊び達人との交流会・ふるさと民家園見学(伝統) 3年
- ※ クラブ活動への外部人材活用推進
- ※ 大石まこと・清水かつらに関する授業
- ※ 理科授業支援・書写支援等
- ※ 和光市の歴史・文化遺産を学ぶ授業(遺跡・遺産)
- ※ 子ども達が地域に出て活動する学習
- ※ 早寝・早起き・朝ごはんに関わる講演

③ ICTを有効に活用した授業

- ※ 朝タイピングの実施
- ※ ICTスキル指導計画の作成と活用
- ※ 実践方略集の作成と活用
- ※ 「物分かりの悪い教師」+「ICTの活用」=主体的・対話的で深く「新しい」学び
- ※ タブレット及び周辺機器の充実
- ※ プレゼンテーション能力育成型授業の推進
- ※ 和光市のICT研究校との連携

④ 主体的・対話的で深い学びを推進する授業

- ※ 「物分かりの悪い教師」のイメージの確認と授業での実践
- ※ 主体的・対話的・深い(新しい)学びに対応した学年目標・児童像の設定
- ※ 「教師が教える」から「児童が学ぶ」へ
- ※ 「響育(心に響く授業)」「共育(家庭・地域と共に学ぶ授業)」「協育(協力・協働して学ぶ授業)」「驚育(驚きとワクワク感のある授業)」の推進

⑤ 21世紀を生きるための授業

- ※ SDGsに関連する授業の推進
- ※ プログラミング授業の推進・低学年ではアンプラグド教材を使った授業の推進
- ※ 経済教育の推進
- ※ キャリア教育の推進

これらの外部人材を活用した「白子学」の推進は、学校運営協議会がコーディネート(準備・連絡)を行い、教職員の負担を軽減する。